

## News Letter vol.31 2011.12.2

### EFFoST Annual Meeting 2011 に参加して

派遣国名：ドイツ連邦共和国・チェコ共和国

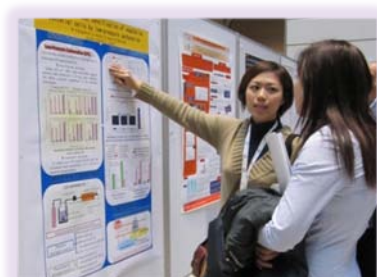
派遣期間：2011.11.4～2011.11.14

学会名：The 2011 European Federation of Food Science & Technology (EFFoST) Annual Meeting;  
Process-Structure-Functions-Relationships

平成23年11月8日から11日までの期間にドイツ連邦共和国・ベルリンのベルリン工科大学にて開催された国際学会「The European Federation of Food Science & Technology Annual Meeting 2011」に参加し、新規殺菌技術である低圧カーボネーション殺菌法に関する研究成果を発表しました。本学会は食品産業が進歩しているヨーロッパの食品科学技術協会が開催する国際学会です。この学会には、ヨーロッパだけではなく、食品製造・衛生に関する研究を行う世界中の研究者が集います。私は低圧カーボネーション処理（LPC）による細菌栄養細胞の熱感受性



ポスター会場全景



研究発表ポスター前にて

の増加についてポスター発表を行いました。LPC 下で加熱処理を行うと、加熱処理単独と比較して様々な細菌の殺菌効果が 3～5 オーダー向上すること、またこの現象は細菌のグラム染色性、耐熱性、酸素要求性など、細菌を特徴付ける各種表現形に依存しない一般性の高いものという点に多くの参加者から興味をもって頂きました。幸いなことに私の研究に参考にさせていただいている論文を書いた、高圧カーボネーションの研究をしている世界的

に高名なイタリアのトレント大学の方に、カーボネーションの研究について意見交換及びアドバイスをいただきました。その方は、現在液体食品ではなく、ハムのような固体食品にカーボネーション処理を行う研究をされているようです。自分が使用しているサンプルと異なるため、どのような研究が進んでいるのか興味が尽きず、討論が白熱しました。最後に連絡先を交換し、その方に研究内容のファイルを送信していただくことになりました。これからも研究面でのコネクションを積極的に作り、さらなる研究の発展につながればと思っています。

さらに、ポスター発表のほかに、本学会で行われた口頭発表を傾聴しました。自分のこれからの研究にかなり類似する孢子の高圧処理についてのベルリン工科大学の学生の発表がありました。これからの研究の参考に活かしたいと思っています。

また、高品質ビールの製造を行っているチェコ共和国・ブドヴァイゼルのビール製造工場を訪問し、現在チェコのビール工場で研修されている先輩（私と同じ研究室の卒業生）にもお会いしました。

最後に、本国際学会に参加するにあたり経済的なご支援を頂いた、若手研究者等海外派遣プログラム並びに関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

学会後に訪問したブドヴァイゼルビール製造工場のショップ（左）と工場内のポスター（右）

